A.A.M.T

第110号

秋臨技だより

第110号
発 行 所
〒010-0011　秋田市南通亀の町6-9
シティガーデン南通Ⅰ 101
TEL/FAX：018（825）2116
Email: aamt-01@comet.ocn.jp
https://aamt.sakura.ne.jp
発 行 人　高 橋　一 彦
編集主幹　渡 邉　正 人

目　次

新年のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第45回秋田県医学検査学会　・・・・・・・・・・・・3
令和5年度　全国「検査と健康展」　・・・・・・・4-5
災害見舞金の改定について・・・・・・・・・・・・・6
環境・保健事業功労者表彰・編集後記・・・・・・・7

新年のご挨拶

（一社）秋田県臨床検査技師会
会長　髙橋　一彦

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日々繁忙の中にありながらも新たな気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より秋臨技事業に対しましては、多大なるご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、専門部事業では学術部門研修会がWebのみから現地開催も増えて参りました。そのため会員が顔を合わせての情報交換も可能になってきたことと思います。また大きなイベントとしては、由利支部担当による「第45回秋田県医学検査学会」、中央支部担当による「令和5年度検査と健康展」が開催されるなど、事業も活発に行われました。更に「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」は第2回目と第3回目が開催され、合計で176名が受講済みとなっております。本講習会は年2回の開催を目標にしており、本年は第4回目を2月25日（日）に開催いたします。現時点でその後の開催日は決定しておりませんが、多くの会員が計画的に動画研修及び実技講習会を受講されますようお願いいたします。

昨年11月4日（土）・5日（日）に福島市にて「第11回日臨技北日本支部医学検査学会」が現地開催されました。学会は、特別企画、各講演、一般演題、機器展示、そして情報交換会等々、大変盛会なものでした。一般演題は各県にノルマが与えられており、秋田県担当は10演題でしたが、秋臨技会員皆様のご協力の下に14題をエントリーしていただきました。これは北日本支部内でも上位の演題数であり、山寺学会長よりも秋臨技会員へ御礼の言葉を頂いております。更に6名の座長にも活躍していただき、秋田県より多くの参加者があった大変有意義な学会でした。なお、本学会は2026年が秋臨技担当予定となりますので、会員皆様のご協力を是非ともお願い致します。

昨年9月30日（土）には「第34回秋田県病院大会」が開催されました。テーマは「人口減少社会における医療人材の確保と育成～秋田県の現状と今後の展望～」とされ、各メディカルスタッフ代表へもパネリストの依頼がありました。本大会では秋臨技会長の立場で、「臨床検査技師の現状と課題～必要とされるメディカルスタッフであるために～」という題名で発表させていただきましたが、個人的な役割の中では特に印象に残ったイベントとなりました。発表後に数名の病院長より「将来の方向性」に関する質問や意見もいただきましたが、臨床検査技師の置かれている現状と将来に向けて取り組むべき課題を発信できた有意義な大会であったと感じております。今後もこのような機会をチャンスと捉え、臨床検査技師の将来を全員で考えるきっかけにしていきたいものです。

昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けは「５類感染症」となりました。しかし本感染症への検査体制は大きく変わることはなく、更に昨年は早期に流行し始めたインフルエンザ感染症への対応も求められ、現在も継続中です。私たち臨床検査技師は両方の感染症に対して迅速かつ正確に検査を行い、その使命を果たしていることは医療を支える職業団体として自負できる業績であると思います。私たちは託された全ての検査において、検査の専門家の立場で更に研鑽を重ね、社会貢献していく必要があります。そして私たちは未来を決して楽観視せず、常に危機感を持ちながら日常の業務に取り組む必要があると思います。医療に貢献する使命感はしっかり持ち、将来へ向けてどのように行動していくか、会員一人ひとりの意識が更に重要になってくると感じるこの頃です。

文末となりますが、皆様にとりまして新しい年が健やかで良い１年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

第45回秋田県医学検査学会 終了の御報告と御礼

第45回秋田県医学検査学会 実行委員長

由利組合総合病院　藤谷 富美子

この度、令和5年10月28日（土）由利組合総合病院講堂で開催いたしました第45回秋田県医学検査学会におきましては、格別のご指導とご支援を賜り誠にありがとうございました。お陰様で、現地参加とオンライン参加合わせて126名の方にご参加いただき、14演題の発表と特別講演・教育講演をもって、医学検査学会を無事終了することができました。これもひとえに会員の皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は感染症法で第5類となり、日常生活が戻りつつありましたが、今回の医学検査学会もハイブリット形式での学会とさせていただきました。ただ、会員の皆様や賛助会員の皆様には多く現地参加をしていただき、学会内では活発な質疑応答などもあり、大変盛り上がった学会だったと思っております。

一般演題は、日常業務の検査の中から見つけたテーマについて研究されており、どの演題もすばらしいものでした。また様々な分野からの発表があり、自分の日常業務以外の演題発表や質疑応答を聞くこともとても実りあるものだと感じました。また14演題中8題はデビュー賞で、また座長も初めての経験の方が多く、緊張の中にも学会の雰囲気を存分に感じてもらえたのではないでしょうか。今後に繋がる経験となれば幸いです。

教育講演は、アークレイマーケティング株式会社の柴﨑 涼様に「尿沈渣検査の自動化と進歩」として尿沈査検査の最新の情報を講演していただきました。どの分野でも自動化は進んでおり一般検査でも今後の業務の効率化を考える上ではとても有益な内容でした。また特別講演では、岩手県立中央病院の大浦 裕之先生に「医療従事者のためのアンガーマネジメント入門」として、アンガーマネジメントについて分かりやすく、そして大変興味深くご講演いただきました。日常の業務や生活においても大変考えさせられる内容で、大浦先生には私達の質問にも多く答えていただき、大変充実した時間となりました。講師の先生方からはお忙しい中、私達のために貴重なご講演を賜り、大変感謝しております。

最後になりますが、会員の皆様には今学会のテーマ「検査モチベーション3.0」を少しでも心に留めていただき、ぜひ今後の臨床検査技師の業務に対し自分なりのモチベーションを持ち続け、研鑽を積んでいただけると嬉しく思います。5年ぶりの由利支部担当での医学検査学会であり、運営にあたりましては不行届きの点も多々あったかと存じますが、皆様には何卒ご寛容下さいますようお願い申し上げます。また開催にあたりまして、ご協力いただきました全ての皆様に由利支部一同、深く感謝いたします。ありがとうございました。

令和5年度 全国「検査と健康展 in 秋田市」

秋田大学医学部附属病院

戸島　洋子

「全国検査と健康展」は臨床検査に関する正しい知識の普及・啓発、国民の健康づくりや生活習慣病の早期発見への意識高揚を図ること、またそれを担う臨床検査技師のことを広く国民に知ってもらうことを目的として全国47都道府県で開催されています。今年度の「全国検査と健康展」はイオンモール秋田3階イオンホールを会場として令和5年11月11日に行いました。秋田市での開催は中央会場として行った令和元年以来、4年ぶりとなります。ショッピングモールでの開催ということもあり若い世代の方や家族連れの方など様々な世代の方に来場いただきました。

臨床検査模擬体験ではジュースに尿試験紙を浸して色がどう変化するのか、顕微鏡をのぞくと細胞がどう見えるのかなど普段触れることのない検査の過程や機器の操作に子供から大人まで楽しみながら取り組む姿がみられました。また臨床検査技師養成校の紹介として所在地を示したパネルを展示し、養成校のパンフレットを設置しました。「臨床検査技師になるのもいいのかも」と話しスタッフに質問する親子連れや何校ものパンフレットを持ち帰る高校生もおり、将来の職業として臨床検査技師を考えるよい機会になったのではと感じました。その他には健康チェック体験として技師による血管年齢測定、保健師による血圧測定、検査専門医による健康相談を行いました。会場が奥まった場所にありながら呼び込みは禁止されていたため人が集まるのか不安でしたが、近隣の学校へのポスター配布、秋田市広報・イオンホームページでのイベント告知などの広報活動のほか、会場入り口スタッフの懸命なアピールの成果もあり、3時間という短い時間でありながら約70名の方々に来場いただきました。スタッフとして参加していただいた中央支部会員、各分野部門長・部門員、各メーカー、萱場先生、保健師の方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も臨床検査技師の知名度を向上させ次世代を育てる取り組みとして、また健康作りを見直すよいきっかけとなるよう魅力ある企画を考え、より多くの方に参加いただけるようにしたいと考えます。

令和5年度　全国「検査と健康展in 秋田市」

災害見舞金の改定について

秋田県臨床検査技師会の災害見舞金に関する規定ですが令和5年10月1日より改定となっております。「第4条　災害見舞金は会員の届出又は上位会員の届出により、理事会の決議を経て支給するもとする。支給範囲及び額等は下表による。」が「第4条　正会員が、地震、台風、水害等の天災地変により、会員の居住する家屋に被害があった場合には、本人又は上位会員の届出により被災翌年度分の会費を全額免除するものとする。」に変更になっております。ご確認お願いいたします。

令和5年10月1日変更

旧	新
第４条　災害見舞金は会員の届出又は上位会員の届出により、理事会の決議を経て支給するもとする。 支給範囲及び額等は下表による。	（会費の免除） 第４条　正会員が、地震、台風、水害等の天災地変により、会員の居住する家屋に被害があった場合には、本人又は上位会員の届出により被災翌年度分の会費を全額免除するものとする。
被災状況　金額　対象 全壊、焼失、流失　150,000円 会員の居住する家屋 半壊、半焼　100,000円 会員の居住する家屋 床上浸水　50,000円 会員の居住する家屋 床下浸水　30,000円 会員の居住する家屋 落雷　20,000円 会員の所有する家財 廃車　30,000円 会員が使用する車両	対象となる被害は以下の通りとする。 ①全焼、焼失、流失 ②半壊、半焼 ③床上浸水
	３　会費の免除措置は、理事会の決議を経て実施するものとする。

環境・保健事業功労者表彰

令和5年11月16日（木）秋田県庁にて「令和5年度環境・保健事業功労者表彰式」が執り行われ永年に渡り秋臨技の事務局長を務められた二部琴美氏（秋田赤十字血液センター）が受賞されました。

おめでとうございます！

編集後記

先日 日臨技の会長選挙も終わり横地氏が新会長として就任し新体制となります。世の中も目まぐるしく動き出し、コロナが落ち着いてきたと思えばインフルエンザが流行る。我々の仕事はいつまでも忙しいままみたいです。臨床検査をとりまく環境も大きく変遷してきており多忙な毎日とは思いますが、会員の皆様には体調に十分気を付けて元気に頑張ってください。

北秋田市民病院　渡邉　正人